



2026年 9 月10日

各 位

会 社 名 株式会社アールプランナー
代 表 者 名 代表取締役社長 梢 政 樹
(コード番号:2983 東証グロース・名証メイン)
問 合 せ 先 取締役 C F O 舟 橋 和
(TEL. 052-957-5860)

2027年 1 月期第 2 四半期（中間期）連結業績予想と実績値との差異 及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

2027年 1 月期第 2 四半期（中間期）累計期間（2026年 2 月 1 日～2026年 7 月31日）における2026年 3 月16日公表の連結業績予想と実績との差異について、下記のとおりお知らせいたします。

また、最近の業績動向を踏まえ、2026年 3 月16日に公表いたしました2027年 1 月期通期連結業績予想を下記の通り修正することといたしましたので、お知らせいたします。

1. 2027年 1 月期第 2 四半期（中間期）業績予想と実績値との差異（2026年 2 月 1 日～2026年 7 月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 中間純利益	1 株当たり 中間純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	25,500	1,800	1,660	1,170	109.63
今回実績値（B）	27,371	2,513	2,363	1,670	156.52
増減額（B－A）	1,871	713	703	500	
増 減 率 （ % ）	7.3	39.6	42.3	42.7	
（ご参考）前期第 2 四半期実績 （2026年 1 月期第 2 四半期）	22,871	1,726	1,643	1,120	105.33

（注） 当社は2026年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり中間純利益を算定しております。

2. 2027年 1 月期通期連結業績予想の修正（2026年 2 月 1 日～2027年 1 月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	54,500	4,050	3,770	2,650	248.30
今回修正予想（B）	56,500	5,000	4,680	3,250	304.27
増減額（B－A）	2,000	950	910	600	
増 減 率 （ % ）	3.7	23.5	24.1	22.6	
（ご参考）前期連結実績 （2026年 1 月期）	48,623	3,747	3,523	2,457	230.66

（注） 当社は2026年 2 月 1 日付で普通株式 1 株につき 2 株の割合で株式分割を行っております。
前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1 株当たり当期純利益を算定しております。

2. 業績修正の理由

住宅業界におきましては、中東情勢を巡る混乱の長期化等の地政学リスクに伴う海外経済の動向、物価上昇による個人消費への影響、金利や為替の変動等、景気の先行きについて不透明な状態が続いている中、2025年の4月に施工された「4号特例」の縮小化に伴う構造審査の厳格化を控えた駆け込み需要の反動減が一巡し、前年の落ち込みに対する基調の回復から全国の新設住宅着工戸数が前期比プラスで推移しております。しかしながら、建築資材価格や人件費の高止まりなどを背景とした住宅価格上昇や金利動向など、依然厳しい状況にあります。

当社グループでは、SNSやWEBサイトを活用した独自のデジタルマーケティングを展開して効率的な集客を行い、「デザイン」「性能」「価格」の3つの強みを重ね合わせた「アフォーダブル・ラグジュアリー（手の届く贅沢）」という独自のポジショニングとブランドイメージ向上も寄与し、受注高・総受注棟数が好調に推移しております。

売上高におきましては、2027年1月期第2四半期累計期間において、分譲住宅の販売棟数が増加し、好調に推移しております。第2四半期での受注状況及び販売状況も踏まえすと前回発表予想を上回る見込みです。

利益面におきましても、販売単価の上昇により売上総利益が改善しており、成長に向けた先行投資を実施しつつ、各段階利益において、前回発表予想を上回る見込みです。

以上の結果を踏まえ、通期の連結業績予想を修正いたしました。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されたものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

以 上